

高校生と津山市議会議員の意見交換会

～第11回議会報告会～

日 時：平成30年10月23日(火)

16:00～17:30

会 場：津山市役所 大会議室ほか

テーマ 「話そう！語ろう！作州のまちづくり」

開催内容

- 1 開会
- 2 津山市議会の概要について
- 3 議会棟の見学
- 4 意見交換会
- 5 閉会



津山市議会

議会報告会(高校生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

| | | |
|-------------------|---|--|
| 開催日時 | 平成 30 年 10 月 23 日(火) 16 時 30 分 ~ 17 時 30 分 | |
| 開催場所 | 津山市役所 第1委員会室 | |
| 班 名 | 1 班 | |
| 出席議員 | 班 長 : 竹内靖人 | 副班長 : 小 椋 多 |
| | 司会者 : 竹内靖人 | |
| | 記録係 : 田口浩二 | 小 椋 多 |
| | 河本英敏 | 野村昌平 |
| | 松本義隆 | 吉田耕造 |
| 参加高校生 | 7人(男 3人 : 女 4人) | |
| 意見交換の内容 (主なもの) | 高校生の質問・意見・要望等 | 議員の回答・意見・助言等 |
| | 観光の面から津山藩の歴史を広めたい。 宇田川榕菴が「酸素」・「圧力」という言葉を作ったということを問いかけたとき、知っている人が少なかった。 | 本市には洋学資料館があり、化学的なことを紹介しているコーナーは設けている。ホームページでも紹介をし、広報に努めている。 |
| | 地域経済学の上で、現在、本市にどのような課題があると考えているのか。 | 若者が中央へ出て行ってしまう傾向があり、問題と捉えている。若者が帰ってこられる対策が不十分と感じているが、「帰ってきんちやい」奨学金返還補助金制度などを創設し、若者に帰ってきてもらえるような取り組みを、企業とともに努力している。 |
| | 災害に対する危機意識が低いのではないのか。減災対策は何かしているのか。 | 防災訓練を実施している。 BCP(事業継続計画)も策定して災害対策は講じているが、不十分な面もあるので整備を進めている。 |
| | 高齢化社会福祉の充実をどのように進めているのか。 | 医療・介護費の増加は課題である。 健康寿命を延ばすために、体操をする機会を作るなど健康維持の取り組みを頑張っている。 |
| | 医療費を18歳まで無料にしてほしい。 | 中学校卒業までは無料にしている。財政上の問題がなければ可能である。しかし、なんでも無料にすべきではないとの考え方もある。貧困層への対策は取られている。 |
| | 都市部の大学を卒業した後、津山にUターンして就職する人が少ない。大企業を誘致して、働く場を確保すべきではないか。人口の増加にも効果が期待できる。 | 受け皿を作るべきだとは考える。 帰ってこられる環境整備を進めている。 本市も企業誘致を進めている。 ベンチャーを起こしてもらいたい。 |
| | 移住・定住者を増やすにあたり、具体的な目標を設定しているのか。 | 目標値は設定していない。 移住者は多いほうである。 |
| まとめ・特記事項 | 何事にも興味を示さない若者が増えている。皆さんには、それぞれが住む地域を良くしていくために意欲をもって活動してほしい。 | |

議会報告会(高校生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

| | | |
|-------------------|---|--|
| 開催日時 | 平成30年10月23日(火) 16時30分～17時30分 | |
| 開催場所 | 津山市役所 第2委員会室 | |
| 班名 | 2班 | |
| 出席議員 | 班長：安東伸昭 | 副班長：美見みち子 |
| | 司会者：安東伸昭 | 秋久憲司 |
| | 記録係①：美見みち子 | 岡安謙典 |
| | 記録係②：黒見節子 | 木下健二 |
| | | 近藤吉一郎 |
| 参加高校生 | 7人(男4人：女3人) | |
| 意見交換の内容 (主なもの) | 高校生の質問・意見・要望等 | 議員の回答・意見・助言等 |
| | <p>◆高校生として、日常、困っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車、バスで通学している。便数が少なく、帰りたいたい時に帰れない。 ・自転車通学では、遅い時間だと暗くて怖い。 ・困った時は、作東方面の高速バスに乗る。親、親戚に連絡して乗せてもらう。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市と町で協議会、定住自立圏を作っている。利用をすすめるが、声が活かされていない。高校生のアンケートをする予定だと聞いている。 ・利用者がいない時間に自動車やバスを走らせるのは大変だが、声を伝えていきたい。 |
| | <p>◆津山の町について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の西部の店を利用している。東には電気店などあるのに、西にはない。 ・大きな買い物、服は岡山、倉敷に出かける。 ・親に迎えに来てもらった時に大きな店に買い物に行く。 ・アルネで集合場所にすることが多い。若者の服のブランドがない。若者向きのお店も入れて欲しい。友達と勉強しようと思っても、休憩スペースも図書館もいっぱいなのがある。公共スペースがほしい。 ・大人向けの値段で、安い飲み物食べ物ほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・伝える。 ・アルネが集合場所になっていることを聞き、図書館等を含めて、津山市議会として「まとめ」を行い、執行機関に提言していきます。 |
| | <p>◆今後、将来のこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員、「決めている」「津山を出る」。 ・津山には大学が1つしかない。あればいいのに。 ・岡山に出る予定。就職、大企業があればいい。 ・地元から出たくないが、出ないと大学がない。 ・一度出るが戻ってくる。地元で誇れるものがほしい。 ・一回、出てみたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元志向が強いと知り、うれしく思った。 |
| | <p>◆感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意見を聞いてよかった。 ・市に任せっきりにならないように、自分で考えたい。 ・思っていたことが解消された。鶴山公園などPRしてほしい。 ・貴重な機会だったと思う。こういう声を聞いて反映してほしい。 ・生の声が聞いて良かった。 ・意見が聞いて良かった。今まで、買い物に来ていたが人通りも少ない。四校連携の取組も頑張っている所もあると感じてよかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの意見を聞くことができてよかった。 ・ぜひ、「新規学卒者向け情報サイト」に登録してほしい。 |
| まとめ・特記事項 | <p>「市議会報告会」なので、市のことを伝える、高校生からのお尋ねに答える、という形が基本だが、四校連携で学習を積んできている子どもたちも多く、せっかくの機会だから、議員が発言するより、高校生の生の声を聞きたい、と話し合いを進めた。たくさん、貴重な意見を聴くことができた。特に、全員「津山を出る」、が、中には、「地元に戻って来たい」という思いを発言する高校生もおり、しっかりと将来を考えていることがわかった。津山に、安定して暮らせるための、働く場づくり、町づくりを進めていく事が大切であると感じた。</p> | |

議会報告会(高校生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

| | | |
|-------------------|--|--|
| 開催日時 | 平成 30 年 10 月 23 日(火) 16 時 30 分 ~ 17 時 30 分 | |
| 開催場所 | 津山市役所 第3委員会室 | |
| 班 名 | 3班 | |
| 出席議員 | 班 長 : 竹内 邦彦 | 副班長 : 村田 隆男 |
| | 司会者 : 竹内 邦彦 | 西野 修平 |
| | 記録係① : 金田 稔久 | 政岡 哲弘 |
| | 記録係② : 広谷 桂子 | 村田 隆男 |
| | | 森岡 和雄 |
| 参加高校生 | 7 人(男 4人 : 女 3人) | |
| 意見交換の内容 (主なもの) | 高校生の質問・意見・要望等 | 議員の回答・意見・助言等 |
| | 災害が発生した場合、迅速に対応するため、日ごろから心掛けていることはないでしょうか。 | 市民の皆さんへメールなどで情報伝達して、気象情報や避難所の設置場所などをお伝えしています。津山市としては災害対策本部を立ち上げ、市民の皆さんの生命と財産を守るため災害を最小限に抑えるように努力しています。また、ハザードマップなどで危険箇所をお知らせしています。 |
| | 異常気象で、警報が頻発していて信用度が低いように思われますが。 | 異常気象は、確かなデータを基に計測された中警報が出されている。むしろ『もう少し早く警報が出ていたら助かったのに』という事の無いよう、空振りを恐れずそういった情報が出されています。皆さんも自身の命を守る行動を誰より先にとってほしいと思います。 |
| | 私は津山の食べ物おいしい事が誇れますが、議員の皆さんは、自分の中の『津山のヒーロー』とは誰でしょうか。 | ヒーローは『名古屋山三郎』。生まれ育った津山が好きという事が体に染みついている。津山の和牛・鶴山城。津山の自然・農業。鶴山城の素晴らしい石垣。津山洋学資料館。箕作阮甫。B'z の稲葉浩志さん。自慢できる誇りに思えるものがたくさんある事。 |
| | 市内にある学校が、小—小、中—中、高一高、小—中、中—高などの交流で、異なる考えに触れることが出来ると考えられますが、そういったことが出来ないでしょうか。例えば部活動で中学生が高等で異年齢集団と交流は可能です。今後、実施できない意識に触れることでいい刺激を受け、記録が伸びるのではと考えますが。 | 目的をもってスポーツや文化の交流は、必要と考えます。高い意識に触れることはとても大切。ただ、忙し中で時間がとりにくい現実があります。スポーツのように研究をしてみたい。 |
| | 来年選挙権を持つことが出来るが、現在投票率が低いと言われている。どんな対策しているか。市民が政治に参加するにはどんなことをすればいいか。 | 市役所がもっと身近に感じる必要があると考えられます。ご両親の意見を聞き、新聞を読んで判断してください。この地域を良くするために誰を選んだら良いか、しっかり考えてほしいと思います。 |
| | 外国観光客が増えている中、市内ではどのようなPRに力を入れているのでしょうか。 | 現在 Wi-Fi の設置を進めている。もっと観光客の皆さんが来て下さるおもてなしの努力をしている途中。おいしい食事、宿泊、駐車場、体験することが出来る津山市へ、観光客誘致へ現在努力奮闘中です。 |
| | 美作には『湯郷温泉』という観光の目玉がありますが、津山にはいろいろたくさんあっても目玉がないのではと思います。目玉を作るとしたら、何だと思われませんか。 | 津山には誇れるものはたくさんあり、絞ることはできません。強いて言うなら『美味しい肉』『つやま自然ふしぎ館』『やさしい心を大切に』『西東三鬼』『まなびの鉄道館』等。 |
| まとめ・特記事項 | 高校生の皆様の率直なご質問に、精一杯答えようと議員全員で答えた次第です。自然災害時の対応や警報発令のことなど、市民としての大切な心構えだと感じ今後もしっかり命を守る行動を誰よりも早くとっていただきたいと感じました。また、学校においては他校との交流が持てないかとの要望も頂きました。政治参加の戸惑いや投票率の低迷、高校生の手本となるべき大人が示さなくてはなりません。そして観光客のおもてなし・アピールポイントまで多岐に渡るご意見をお聞きすることが出来ました。今日の貴重なご意見やご要望をしっかり受け止めて、議会で共有してまいりたいと思っています。皆さん津山市をいつまでも好きでいてください。津山市に住み続けてください。 | |

議会報告会(高校生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

| | | |
|-------------------|---|--|
| 開催日時 | 平成30年10月23日(火) 16時30分～17時20分 | |
| 開催場所 | 津山市役所 第4委員会室 | |
| 班名 | 4班 | |
| 出席議員 | 班長：津本憲一 | 副班長：中島完一 |
| | 司会者：津本憲一 | 津本辰己 |
| | 記録係①：中島完一 | 中村聖二郎 |
| | 記録係②：原行則 | 森西順次 |
| 参加高校生 | 7人(男4人：女3人) | |
| 意見交換の内容 (主なもの) | <p style="text-align: center;">高校生の質問・意見・要望等</p> <p>市役所と商業高校の間の市道を横断する職員をよく見かけるので、ちゃんと横断歩道を渡ってほしい。</p> | <p style="text-align: center;">議員の回答・意見・助言等</p> <p>職員はもっとマナーを守らなければいけない。</p> |
| | <p>都会に出た若者が、ふるさとに帰ってきたいと思えるようなまちづくりをしているのか。</p> | <p>都会に比べて津山は、空気がきれいで、自然豊かで、災害の少ない良いまちであるので、帰ってきてほしい。企業誘致などで経済力のつく雇用を生み出していくことが大事だ。</p> |
| | <p>新国際ホテルの歩道のタイルが動くので滑って危険だ。修繕していただきたい。</p> | <p>担当部局に伝えて修理させる。</p> |
| | <p>観光客を増やすために、どのような対策をしているのか。</p> | <p>城下を中心に城東、城西の連携を深めて整備している。最近、津山まなびの鉄道館が人気になっている。洋学資料館など、観光資源はたくさんあるので、しっかり発信していく。新国際ホテルにも多く観光客に泊まっていただきたい。</p> |
| | <p>皆さんは、津山をどのようなまちにしていきたいか、お聞きする。</p> | <p>内陸部の城下町として落ち着いたまちにし、まち全体がもっと経済力をつけていかなければいけない。そして、若者の定住が増えるまちにしたい。</p> |
| まとめ・特記事項 | <p>高校生の生の声を聴くことが出来て大変参考になった。想像以上に津山のことを考えていることに、頼もしさを感じた。今度は、我々が各学校に出向いて、意見交換をしていけたらいいと感じた。18歳選挙権が出来たので、もっと若者の意見を政治に反映しなければいけないと感じた。大変有意義な会だった。</p> | |